



7 3
6780
3



門 73
號 6780
卷 3

職原抄口訣卷之五



諸國

惣卷

松達成章甫



ト云春ノ縣石ニ任セラル、モリ也、京ニアル諸官ヲ内官ト云ソレニ對シテ
外官ト也、女畿七道ノ任官也、大國上國、中國、小國、下國ノカハリ
アリ、上大、中、下、小ニヨツテ、取りモ、ガ多寡アルニ、也、六十余國、不論大
小、通テ、ソノ國ノカミヲ受領ト云、此ヲ國司ト云、今ノ諸國ノ守護人
身ナリ、ステ、ソノ國ノ守ニ任セラル、ハ、ソノ當任ノ間、年數ノ限リ、四
年ナリ、ソノ治メ、マ、ウカ宜ク、國民モ、ヨク、治メ、ハ、延任ト云、限リ、四年
外、又、年ヲ、延テ、或、一年、二年、三年ト、直分ニ、勤ル、ソ、此ヲ、延任ト
云、國民ノ、方カ、所、モ、子ガ、ヒ、令、少シ、此、人ヲ、田々、置キ、モ、公、ノ、勤ヲ、申
上、ル、由、アル、又、上、カラ、モ、遷任ヲ、仰セ、付、アル、ト、アリ、又、重任ト云、アリ、重



子テ任スル一四年ノ外又四年ツトムナリ若国ノ守ノ政ヨロシカセハ
任ノ満ガル中ニモ他へ移サルナリ或ハ官ヲ賤ニ俸禄ヲ削ラセ或ハ
他官制任ヲ留メラルナリ如式ニ改述ノ善否ニヨリテ賞罰要
又ニ任国ノ人ニ賢人モマキ一ノ改述ノ不宜カミテ職ヲ奪ヒ官ヲ
削リソノ次ハ上国ナレハ中七部へモウツサルニ夕良史ナレハ下国ヨリ中
上へモ移サルヨリ大國へモ任スル一ノ中国上國大國ナレハウツリノホ
ホト俸禄取りノ物カ段々ニ多クナル一ノ名ヲモ揚ケテ身ヲモスル一
四年間キ音等ノ高定モユトクヌミ公文ヲスセハ四年ノ任満テ
又他官ニ移トテモ抽賞ヲ賜フ一ノ四年ノ間ノ高定カ立ナルハ
永ク任官ヲトメラシ改治ノヨキハワカ功帝ノ制トモアラハ規模既
アシケレハ及之ぬ此ニ古ハ賞責嚴明ナル一ノ自ラ人々ヨクツトメテ
良循ノ人多カリキ近世代々父子相續ノ他ヨリ不任之故ニ有徳
寸鉄ノ人不出ナリ

神武天皇即位之初継神代之蹤 諸國ノ六十ヶ國ニ分
レタル初ヤ因々ノ國目ヲ置タル始ヲ云ヘリ 神武ハ彦火々出見命
ト申シ奉ル神代ニ天照大神瓊々杵命ニ此國ヲシロシメサセ玉フニ日
向ノ國高千穂ノ峯ニ都ツリ任玉フ神武ニタ瓊々杵ノ跡ヲ
継キ日向ノ宮崎ノ宮ニ都ツリシスニ玉ヘリ此時イマタ諸國ノ
分チモナシ中味ハ神ノハニケテ次チク味ハクラキ也アマモ無キカ
如キヲ云天下郡縣ホモイニカ分ナリ也此ヨリ此処ニテ何ノ國ト一
國ノシツカリト定ル一ナカリ也 陳征之後トハ神武ノ即位ハ
寅年詔ノ玉リ天下未治西方ハ大方治リテ玉他ニ隨フト玉
東國カイタ治ラス可征トテ東征ニ玉フ舟ニ召セテ大和へ都ヲ
移サル大和ニ長ス子房ト云テアリ不從奉メ人命ニサカリ神

化

武東征ノ退治之玉フ初テ中ツ州ヲ平テ大和国^檀橿原ノ宮

ニミヤコクリ此玉フ此トキ初テ国ノ名ホバカレタリ^檀嶺四門ステニ

神武此取ニ及ニテ天子ノ御位定リ徳備リユハ四方ノ力ヲ推

招

解テ八方ノ賢人君子ヲ^招キ玉フ故ニ四方ノ賢者能者アツテ来

テ政ヲ多ク故ニ政道自ラ正ク成リ^檀四門ヲ一説ニ東待賢門ト云

朝

嶺四門ノ見テ^檀年典此ニ取リ文四方ノ門ト云意ナリ朝ハ方ハ次

章按東西南北ヲ四維ト云四隅ヲ加テ八方ト云此ハタ、諸国化ニ按

テ来朝シ臣伏スルヲ云テリ歴代因准日本紀ニ因准ニ字ヲナツテ

訓セリソノ例ニテアルヲ云神武ノ政治ノ旧例ニテヒカサム也^檀漸漸

ノ意以テ^檀諸道ヲ開ケテ^檀第年代ノ下ニ寮ノ字アリ^檀衍字ノ當

刪去 崇神十年日本紀崇神紀ヲ按テ十年秋七月トアリ^檀諸国

イニテ徳化ニ不^檀後モノアルヲ以テ使ヲ以テ四方ニ遣テ証謀ス^檀此遣使

於四方ト云^檀国々ニ^檀国ヲ^檀任セ之^檀在リ^檀本ノ興リヲ^檀率リ^檀イニ

タ^檀ツリト一官ニ^檀ラシ^檀ルニ^檀非ス^檀同年十月 日本紀三九月トアリ

更余四道將軍 更トハ上ニ遣使トイフニ^檀玉ノイフ使外ニ更ニ

別ニ四道將軍ト云テ^檀余ノ遣使セ之タリ將軍ノ事ハ下ニ詳出

外武ノ官ト云下ニ送ク出セリ 不^檀論^檀干^檀此^檀第^檀十三^檀代^檀成務^檀天皇^檀四

年^檀始^檀定^檀國^檀造^檀國造ハ後代^檀國ノ^檀カミ^檀ノ^檀起^檀リ^檀ナリ^檀成務^檀四年

日本紀^檀辭^檀ヲ^檀考^檀ヘ^檀ル^檀ニ^檀勅^檀言^檀イ^檀ト^檀モ^檀カ^檀シ^檀コ^檀ク^檀仁^檀惠^檀ノ^檀際^檀外^檀ヨ^檀リ^檀出^檀タル

有^檀難^檀キ^檀御^檀ト^檀也^檀法^檀國^檀ノ^檀宝^檀ノ^檀不^檀治^檀ハ^檀君^檀長^檀ナ^檀キ^檀ユ^檀ナ^檀リ^檀ト^檀テ^檀國^檀々^檀処

々^檀ニ^檀ツ^檀カ^檀シ^檀ラ^檀ヲ^檀置^檀ル^檀中^檀津^檀國^檀ノ^檀カ^檀ク^檀シ^檀ニ^檀ガ^檀キ^檀タ^檀リ^檀ト^檀モ^檀ヲ^檀詔^檀ナ^檀リ^檀藩

屏^檀ニ^檀字^檀ヲ^檀カ^檀ク^檀シ^檀テ^檀ガ^檀キ^檀ト^檀訓^檀ス^檀中^檀國^檀ヲ^檀カ^檀ク^檀シ^檀ニ^檀モ^檀ル^檀ニ^檀ガ^檀キ^檀カ^檀コ^檀イ^檀ノ^檀意^檀之

ニ^檀ツ^檀エ^檀ト^檀天^檀子^檀ノ^檀為^檀ニ^檀國^檀ノ^檀カ^檀ミ^檀ハ^檀ク^檀ニ^檀ノ^檀奴^檀也^檀ト^檀イ^檀フ^檀心^檀ニ^檀ニ^檀ツ^檀テ^檀訓

ス

同六年 日本^本 託作五年當改而後日本能五年秋九月ノ一ノ
 分国界一トハ山川水邊ヲ分^チ阡陌村里ヲ制メソクニ定^ク
 ラル南北ヲ横トシ東西ヲ縦トス山南山北ホヲ分レタリ 山ノ南ヲ
 カケモ云山ノ北ヲ外面ト云ハ此取イニタリ名クハシクハ分レズ大抵
 山陽山陰ホノ分チアルニテ^ニ国造国司名 国司ト云名ハ白王^極
 天白王トキニ名付国ノ守ト云ハ文武ノ取ニ改メ名ツケラレタル也^極 国
 造ト云此ヨリ已前ニ無キニ非ス成務ヨリ始^シモアリニ也 国サカイヨテテ、
 国造ヲ要^スル一^ノ成務カ始ナリ日本能成務紀已おニイク処ニモ出テアリ
 然レモトハ或ハ曾キ或ハ能メ不^レ成務ヨリ始^シテ国造タカカニ立テ
 代々相ツイテ不断故ニ昔^ノヲ不引ノ成務ヲ国造ヲ置タル初トスル
 ハ此意ナリスヘテ職原ノ例如^ク下毎々アリ 此ヨリ初ニアルナ不
 知^ラテ又^レ造ナルヲ引^レニタメニ^後初トセ^レタル^ノ此実^ルヲ示^ス
 国造ト云ニシテ後ニ改メテ守ト云 国司ノ撰ハ重職ノ故ニ此ヲ京^ノ
 鮮職ト云也 京鮮ハ老子經ノ字也 治大國者如^ク烹鮮トアリ 小鮮
 ハ小魚ナリ 小魚ヲ烹ルニヒタトアセカセハソク魚ユクク断ヘクダケテ用
 ニ不立烹ヤウア^レケレハ必^シ小魚ハクダクルモ^ノノ如ク一國ノ民ヲ治^ス
 ニ敏^ク擾^ステ察^スレハ民カ不治モ^テ也 云ニモテアツカイア^レケレハ乱ヤ^ス
 故ニ無^ク為^シ安靜^ノ徳^ヲハ^レテ此ヲ治メテ民ヲ乱^スルヲ^ハクノ政人ト云也
 分憂^ノ之^ノ職トイフモ民ノ憂^ヲ分^テ半^クハ^レカ^レリ^テウ^レルナリ 此ハ
 成^ノ章^ニ按^スルニ国守ハ君ノ憂^ヲ分^テ已^カ身^ニ引^クウ^ケカ^レリ^テ所
 ツト^ル一^ノ可^シ見^ル 良^ニ千^石トハヨ^キニ千^石ト云心^ニ之^ノ千^石ハ^レ国^ノ守
 ノ俸^ノ禄^{ナリ} 外國ハ天子ノ御^手ノトカ又^レ外^ニナルニ^ハ此^ニカ^レリ^テ勤^ム
 至^テノ大^ノ役^{ナリ} 故^ニ人^ニ非^レハ^レ難^ク任^ズ也 誠^ニ是^ノ當^ル一^ノ方^ニ也^重
 方^ノ角^一國^ノ々^ノ重^任ニ^シテ^モソ^ノ重^任セ^ル尤^モ重^キ也^示 百姓^ノ苦^シ苦^シ

不承客ナトニ賜フヲ 征伐件侯ヲカサトリ 高岐對馬共薩摩等
ハ諸方ノ寇ノ興ルヲ鎮壓トシテラミヅムルニ 之ノ関ニトアリ
雖ノ陸奥ノ州ノ不敵 越前ノアケ地ニ多クノ関ニトカサトル
ノ取關セキヲ掌ル 柵ヲフリ 用要ヲナスコトヲカサトルナリ
介 スケシカミノタスラスケトキ者ニ 越前正六位下地ノ六位任之
揚 正六位下ノお高ニ 百寮列要取ニ地ノ
六位ノ下品ヲ勤クトナリ 正職掌ハソノ中ノ一ヲカキ下ノ
サキ父事ヲサトリ 非違ヲ 征察ス他ニ多ク同ナリ 細字有權
大權有權ハ柵ニ權ノ全常ハ服ク
目 廿六ニ 筆執ニ 正六位上ノお高ニ 列要取ニ六七位
下トナリ
上見 上見ハ山瀬尾張下所カケル 因幡 越前 肥前
ノ類 紀伊 筑前 豊前 豊後 尾道 上國ト云々皆カミステセリ
サツクニ下ニ 學生 醫生 史生ノ付ク 諸司 皆同ニ
守 大見ノ守ニ上ノ守ニ大上ニ守ハ 越前 大見ノ守ハ長五位上
上見ノ守ハ長五位下ニ 正五位上見ノ守ニ任スルハ 陸奥ノトキニ
之ナリ 執事カ長五位下ト 昏クナリ 正職方ノ惣ニ 後ニ必長
倉ノ官方下ルナリ 倉官寮ノカキ 中納言 國ノ守ヤ 正
以ハ皆同格ニ 執事カ推シテ 位階ノ官方ノ下ラサシ 先ニ推シテ
昏クナリ 正五位上見ノ守ニ 正六位ノ任官ニテラサルニ
故ニ云フ 其ノ日 倉官 正六位 推自ノトキ 執事 押メ長五位下ト 昏クナリ
不待勅処分 越前ノ正五位上見ノ守ニ 正六位ノ任ニ 限ルナリ 正六位
任スルナリ カツテ ナキナリ 正五位ノ任ニ 限ルナリ 正六位ノ任ニ
テ 不待勅 越前ト云ハ 正五位ノ官方下ルラマシ 正六位ノ人カ 因幡 守

七

上トニ任スレハイニ父五位ノ室下ハ下ラ又内ニ執業カ押ノ位五位下
因幡守ト云クルシ

中五 十一ヶ国アリ 所序若狭丹後ノ位イシ
守 お高正六位下 他ノ法五同例シ

介 中五ニ官位令ノ時ハ介ハナシ清和トキ貞観ノ格
カラ已後介ヲ重シタリ 官位令ニ介弘仁格中五ニ有介後
代重介貞観七年格能登丹波石見長門土佐日向等至
介上ト同例シ

下五 九ヶ国アリ 和泉伊豆志摩若岐對馬ノ岐對
馬ヲニ島ト云五ノ中ハ入ラサレ下ニシツ入テ九ヶ国ト云以下
ノ上同例格官位令ニナシ貞観ノキ飛騨國福元色リ唐
名ノ上ノ清ニモ唐名清カス日中ノ官ト中華ノ官ト的當ナルニ

死高ノ名高如凡ニシ

郡司 和州ヨホリノニヤツコカ國ハナシ大五ニ郡ヲサケモノアリ

け七ノユキリナリシ 職負令ニ大郡ノ大鑓ト云モノアリ 上郡中郡
下郡ニ郡司カアリ け下ニ小鑓ト云モノ一人アリ 下ニ主政主帳

上ニモノアリ 主政ハ下リコトラスモノ主帳ハ帳ヲ記スモノハ上郡ニ小
領一人主政主帳二人ツアリ中郡下郡ニ一人ツナリ上郡ニ二人

ツニ郡司ノ下ニモカニスケセウサクシ凡シ 郡司ハカニ小領ハスケ主
政主帳ハセウサクハニナリ 小野山町ナレドカ出取ノ郡司ノ台メナリ

氏司ヨホリノニヤツコカ國ハナシ大五ニ郡ヲサケモノアリ

凡五ノ守ニ成テ下ルトキニ別ニ下サレモ賜モノ凡下ニ定リハ五位ノ
お高ナリ云ニ辨スルシモ人ノ聖言リソノ人ヲ扶ニシ也情ノ撰

ナト玉守ニ任ル人ハ四位ノ人テモ任メテナリ或ハソノ人ノ親王ヨリ或
ソノ人撰志メ四位已上ノ人モ任ルトツト或説歴七ノ国受領受領
ト玉守ノ一ト一玉ノ任ノ向ノ年數四輩ツシ七ケ玉ヲ經テハ四七二
八年向ナリケ向久クヨクワトメモ合格マ吏トヨクソシテ治
ル格式ニキレ玉守ツシ吏員玉守ノ丁公文ハソノ任ノ向ノ勘定ナリ
ケ向ハトコソリナクヨクヨク海太參議ニ拜セ元ケ定リケト
參議已上ノ公卿トイフ參議主ハ公卿ノ列入ルソ殿上人申ラ
超テ公卿ニナレシケ玉守ノ下ニ事カトイフモナリ守ニモ介ニモ
攝ニモアリト一ノ同心クミ子ノ中モノ一人七人ツケテアリ白河院
仰但ノ後其才ト七ケ玉ノ公文ヲ經ル玉^{公文ヲスミタルハ}ソカミハ必參議ニナ
ルモトヒ七ケ玉ヲ經テ公文ヲスセタリヒソノ人々智器量ノナキ
モノ參議ノ大役ワトメカタル也ハ參議ニ任スキ公卿アリヒ之々モノ
任スカラスト又太守^{太守}者有親王^{親王}之ケクタイシウトヨム古來ノヨコ
クセナリ太守ト大ノ字ツ付ルハ之ケハニ限ルト一常陸上野上総
三國限ルソ他ハ大ノ字ト云ケ之玉ハ親王ノ任官ノ人長ハ任後
人長ハ之玉ノ介ニナユニケ之玉ノ介カ他玉ノ守ト同ト一親王
ハ親王ノ介ナリニテキヲ下メ玉ノ介ノ下ノナキニソノ下ノ介カ替
テ事ヲ執ルニケ之玉ノ介カ替ニケ今ハ親王ノ任ハナキ今テモ
介ト云ハアリ何氏上野介ナリト云ケ之玉ノ改乃下事ノク吏務ト親
タリ不知吏務吏ハ玉ノカミト一玉ノ改乃下事ノク吏務ト親
王ハ都ニ居テテモソノ國ニ居玉イテモ吏務イハ當テス介カミ
尚カリテ事ヲ執ルシ故ニ他玉ノ守ヲ受領ト云テ介掾目ハ受領
トイケズハ之玉ノ介ナリカカミト同トナユニ之玉ニテハ介ヲ受領
トナリケケ^{サスケ}ニ介ト云權守者也代選後之官正守直

介ニ

トナリケケ^{サスケ}ニ介ト云權守者也代選後之官正守直

未公文受領

ソウ(下)リテ吏務ヲ事トシテ權守ハツ(不)下都ニヤリカラ
權守ニ任メテ傳録ノ事リ揚(ト)ルカリ之故ニ權守ハ諸家ノ歴
々ノ兼官ニ任メテ遠授ハルカニサカリウケルシソウ(不)下ノルカ
ニヤリウケル心ニ南代細工人工高頼銀治ノルイカニ守成
ヲ受領スト云ニケハ云ノ受領ニラス未公文ノ受領トイフモ
公文ヲ勤ゼザル受領トイフ心ナリ云ノ受領ニアラスイモハシテ
介擧ニ任スルモ推ルメテ受領ト云リ也ハ受領ト云ハ守成カ
限リテイフシイモ公文ヲ知ラスノカミヲウケ領ズル心ニテ未公文
ノ受領トイフシ

參議ニ位ニ位中將少納言ニ位ニ位ノ中將女納言等カ兼
官ニ任メソトシテ兼官ハ遠授ノ官ニ殿上六位親人トハ
極贈イシケカ左位ニ任メ守ヲ領スルイモ遠授ニ叙位ハ

五位ニ任テ預爵トハ五位ニ任テ叙爵ト云殿上ノ六位ノ親人
ハ殿上ト云テモ五位ニ任テ下リテ地下ト云テモ守ニ任テ
了シ皆權守ニ任テ古來ノ例トシ納言ニ任テ已敷備之ハ任傷
一納言已上人院罪トキニ任テ權守ニ任スルト古例ト云ニ
參議ノ人カ中納言ニ任テ兼官ノ權守ヲ止テ辞スルト
院罪ノ例ト云ニケハ同キヲ云テ兼官ノ權守ヲスルト常ノ
例ト云ニ任テ古來ノ例ト云ニ任テ兼官ノ權守ヲスルト例アリ
其凡公首昏モ事ナリ 延暦六年中納言正之位及系為臣
加名 小黒麻呂為兼美作守及世六一向ニ納言ノ兼例ナシ介ヤ
權介ハ辨官左右近衛中將女將ノ人兼帶之
畿内 日知紀四方堺ニテヲ記セリ世七代孝博紀ヨリ東ハ
伊賀ノ一南ハ紀伊ノ一北ハ近江ノサナ山ヨリ け方西ハ一

古(西)名之撰津ハ云ノ名ニアラス津ナリ不入云故ニ古キ昏ニハ四歳
内ト出カテアリ撰津ハソトキノ津ニ之代格ノトキ陸ノ一云トス四國
ニ合テ云嶽トス^{ツク}中ニ撰津嶽トテ云ノ津ヲワサトル一ニイリ
イハツクモイフモノ心ニ云ニ撰津ト云テセウツトヨニス又バツトヨ
扱ハ後云ノ六十六ケ云ノ名ヲ名タル由来ラ一ニ滿スル人アレハス
上古ノ一ニテソノ名云ク知レタルモアリ不詳モアリテ不愼ト云ケハ
云サレニ不若大ヤウハ大全キニ載タレ考見(シ)
云ニ出カル守介撮目ツケ一云クノ下ニ記合メる見撰津上ケラ
云トス一植武ノトキ
東海^ル 此係心ノ諸及ニ云レタ^一何ノ昏モ不見見紀ノ景
行辛三年秋八月ニ伊勢之行幸メシヨリ東海ノ中(入)リ玉フアリ
ケトキステニ東海ノカレタ^一ニヤ

志摩下 高橋氏為内膳正 高橋氏カ内膳ノ正タルトキニ任之
高橋安日雲ハ二氏ト云本ニ高橋ヨリカレ出タリ本一ナリ安日雲
ハ和泉守ニ任ヌ高橋ハ志摩守ニ代々任スル一深田平次ニ高
橋ハ不任之トイリ大全ニ志摩國ハ國モ小シテ都^一近キ云ニ高橋氏
任之トアリ此ハ志摩^一説カクニ非前ノ内膳職ノ処ノ首
昏前姓氏籍云高橋ノ姓ハ景行天皇ノ東國巡狩ノトキ云
白^ナ蛇ノ鱗ヲ献リカ^一アリ此ニツテ膳ノ臣ト姓ヲ賜フトアリ此高
橋ノ先祖也云ハ伊勢^一此ハ伊勢ノ内カラ令レタルモノ也海濱
ノ魚鱗ノ多キ処ナリ膳部^一カレル^一此ナリ云ニ高橋氏ノ名守ニ
任ヌ^一世ノ由^一ツテカ^一遠^一江^一歌^一春^一ニテハトヲツカフミトヨム
常トトク^一ミトヨムナリ此云モ常ノ如クテ近江ト遠江ト封メ各ク
ア^一三^一八^一郡^一近^一キウ^一ミトイフ心ニテ名白トトク^一ミ^一郡^一トク^一キウ^一ミト云

甲斐 成章梅スルニ斐ノ字ニ書ニ無ニ非下常臣文信謀作反

上総カサガ 有有大守 親王任之 三代実録ニ本朝親王カ上総ノ大守

カトアリ 元康ハ仁明ノ王子八条ノ宮ト申セシナリ

常陸 有大守 清和ノ貞和ニ一親王任之 桓武ノ王子賀

常陸親王任之

東山道 八ヶ國

上野 大有大守 二品兵部大臣ニ親王任之 嵯峨天皇ノ王子

陸奥 陸地ツキニ都ヨリハルヤニトキ 奥トイフ心ナリ 逆ノ

トイフ意ニ陸奥出羽按察使府 陸奥ハ極メテ大國ナリ 二

國ノ守介撮介ノ外ニ又按察使府ヲ設置ニ存ハ官府ナ

按察使ニハ官府ナリ 官人ノナル也古ハ隋國ニリ 中古四國ニ 奥州出羽

ニ置北府北ノ按察使ヲ置 凡始メハ統日本紀養老三年ニ置

ソノ存者 藤原ノ田麻呂任之 之代実録ニ奥州極テ大

二三郡ヲ分テ出羽ト出雲ト出石ト出心ナリ 中一云シ 元ノ天皇ノ和

銅九年ニ出羽ノ見テモ 古ハアリ けケ云ノ守ゾ一ト云受領ノ外ノ

官ニシテ任セシトキニ 執筆カソノ名ク書ニ陸奥ノ按察使 維業

ト名クシ出羽ノ按察使トイフハ云ナリ 執筆ノ名ヒナリ 陸奥ノトキ

イシ出羽ノ別ヨリ 外シ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ

ハ兼ク人ヲ下スル者ト云ト 而モ之ノ別々ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ

ニ陸奥トハナリセクハ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ云ニ

按察使 若長老トキハ西五位下ノ者ナリ 其后弘仁二年ノ格

ニ位四下ト定ル位階ヲ同升セタリ

近代納云 已上兼之 大中納云 参内ニテモ兼之 乃何名ニ平ノ

タカ子任之 仁徳ノトキニ 是房公モ按察使トナシタリ

めむハヤリ聖武二年ニ始テ、至トイリ物六仁のノ十九年ニ高ルカ
但シ大金ノ亦云ノハク九次不審ナリ待重考令監察友云ハ為
羽二云ツ云存必お並ハ、防守府按察府ニ府ト国ノ守ト与
おナラヒテ、是ノ事ヲ執行フシ、お云ナレニ云ニ不執行ノ事府ト国
守トおナラヒ立アフテ、比クニ云政ヲ執行フシ

秋田城 勇勇別中大国ヲ賊カ多ク起シ、云ニ出羽ノ中、秋田ニ又城ヲ
タテク、介ヲ任メ、云下ノ治メ云云、信ヲ官ハ、外官トテ、縣石ト上任之
ハ、ハリハレニアカク、別ニシノ人ヲ、云ラムテ、官下アリテ、任セ、云下ニ、
ニ、ハ、云々、官ノ兵乱ノ多ク起ルニ、云ニ、云々、任官ハ、シノ人ヲ、
云ニ、云々、ノ、世ニ、ハ、人ノ名ヤウニ、云々、出羽ノ守ノ、外ニ、別ニ、城ハ、
アリ、外ハ、防ノ、タメニ、役之、秋田信濃守及代、秋田城ノ、介
ヲ、任兼ヒ、家ノ、子孫ニ、此比ニ、テ、アリシ

北陸道 七ヶ国 以下与前同

南海道 六ヶ国

西海道 十ヶ国 除二島

トス此ヲ除テ六十六ヶ国ト云

大宰府

西海道至テ、廣サニ、九国ニ、為テ、信ルメ、ニ、因ノ、守ノ、外ニ、

又置此府、府ハ在筑前、帯筑前、帯下、云ハ、直ニ、筑前ノ、守ニ、非ス
為子、帯下、之、筑前ノ、国ノ、守ハ、キツト、云ニ、テ、アリ、ソリ、下ニ、云々、セウ、サツク、ニ、式
々ニ、云、下、之、の、外ニ、又、九、云、ニ、為、リ、ウ、ク、ヲ、ス、ベ、カ、サ、ル、カ、大、宰、府、ナ、リ、ソ、ノ、府
筑前、国内ニ、アル、云、テ、筑前、ノ、下、ヲ、帯、スト、イ、ヘリ、筑前、ノ、国ノ、守、也、下、此ノ
大宰府ノ、帥ノ、命ヲ、ウケ、テ、云々、サ、カ、ヒ、テ、サ、ル、ク、一、大、宰、府、存、ノ、所
ヨリ、云、サ、レ、引、ク、ス、ル、之、九州ノ、総ノ、カ、サ、ナリ、一、府ハ、官人ノ、居リ、処、ナリ、東、国
ニ、テ、筑、守、府ト、曰、格、之、西、海、道、ニ、テ、ハ、大、宰、府、存、ナリ、此、府、中ニ、云、帥

宰

権即大貳少貳ホリ該官アツリ居ル処ナリ諸国ノカミラトテ取六
 提司ノ故ニ唐ノ大都督存當アルトイフニ筑前カカリメタメニラス
 九国ニ島ノタメニ置レヒ其存以在筑前中故ニ帯之事ヲ存ト云モ
 古大軍存ヲ置テ後ニ置テ又絶チ平城天皇ノ大同三年五月ニ
 筑前ノ守外ニ大宰存ヲ置ルトアリ此志ノ提司トセリ 聖武天皇天
 平十五年十二月イノ法西府東^國ヲ鎮守存ト曰鎮守府東
 國ヲスベ領ス此志云鎮西存ナリ九国ヲスベ領ス鎮日本記ニ陸四
 佐石川ノ相臣ヲ鎮西將軍トセシメテアリソトキ大伴ノ宿祢百
 世ヲ副將軍トシ判官二人 主典二人ヲ置ル昂天平十五年ノ取ノ
 一ノ先皇之省太宰存号 先是トハ聖武已前ヨリ既ニ太宰存号
 アリシニ此ハ權右天皇ノ取十七年其四月ハ紫紫太宰存ヲ奏聞
 セシメアリ 然レハステニ推古トキニ大宰存ノ名アリハ推古トキニ始ニ

推

リタルナランカソノトキハ帥ヤ權帥ハ不置之官人ヲ備ルカハ古尺目ニ在
 之聖武十五年ニ將軍副將ヲ置レタルカ置官之始ナリ 存ハステニ
 推古トキニアリソノ官式ニ定リハ之ニ時々ニ官人ヲ遣セタルカ
 天平宝字二年勅一以四年為年限 四年ツミテ更替シタルトシ
 叔世ハ國守ノ年限ノニ非此ハ國ノ史生ノ年限ノ一ニ統日本紀天平
 冬十二月ノ処ニアリ 玉守四年ツミテ更替サスルト今ニテノ例ナレソノ
 外ニテハ中ノ政勳ノ功勞不例初トシイカト志ハ夫子聖德ヲ以テスラ
 若有用我者三年而後有成トヨリシテイウヤ中人以下ノモノ
 四年ノ年限ニテ政ノナルトイフハハルニシトテ今ヨリ六年ヲ以テ年限
 トスニト定ラタリ史生ノ外ハ四年ツミテ更替セヨトノ勅定ナリ故ニ昔ノ
 四年ヲ以テ年限トストイフハ史生ノ年限ノ一トの見ナリ 玉ノ守ノ一ニラス
 宝龜十一年ハ四十九代光孝仁天皇ノ時ノ一トシトキニ他ハハニテ

帥

官祿秘抄三北山抄ラリテ大宰ノ帥ハ親王ノ多クニ改メ官ニ非ストイリ 権帥若大貳知府務而已トハハ侍官氏ニ同格大宰府ノ官ニカモテテイウレテモ親王ガカミニ任セラルトキハ親王ハ手ヲ下ノるヲ掌ルニ非故ニ権ノ帥ガ代テコレヲ勤メ大貳小貳カワトムレテ他官ノカミヌケモ同例シモシ權ノ帥ヲ重メ大貳大貳カ知府務ニ故ニ大宰ノ帥ニ親王ノ任セエトキハ權ノ帥ガカミニ權カシハ大貳カカミニナルソ

権帥 權カミニ 正帥ノタヌケニ 若親王乃正帥則權帥

ヲカミトス 納言以上ハ中納言以上大納言以下ニ官ノ大中納言モ任ルリト大抵他官ノ官ノ任スルトキハナキトシ他レニ權帥ニハ官ノ任スルトキハ官トハハ大納言ハ中納言ナトシ中古以來ハ正ノ帥ハ親王ニテ之

擬メ親王ノ任ニ極マレリニシタルト也親王ニ擬ストハ親王ノ任官ニ極メ

テシキタルト也親王ハキチ下ノ府務ヲ掌ル玉ハ又ニ他ノ人カ代テ

帥ノ役ヲトメテ府務ヲ兼ルル是ヲ權帥ト云フハ兵帥ハカミニ權帥

ト云フ或又任正依取宜欽トハ大中納言カ正ノ帥ニ任スルモアリソノ

トモクノ宜キニ任テ任スルカトシ然レハ親王ノ任官ニキリタルニテ

ル可知為大臣之人尤近之取任權帥三公ノ尤近諸ノトキニ公

ノ官ヲ削リテ大宰ノ權帥ニ任セテテ流罪ノ人ハ權

帥ニ任シタルガリニテソノ役ヲツトムルハアラスタク權ノ帥ノ取物三分

十ノ一ヲ取テ右大臣豊成ヤ醍醐天皇ノトキ管相亞カ

右大臣ヲシリテテテテ流罪ノトキモ權ノ帥ニ任セテテテテ

院トキ西宮殿高明公モ權帥ニ任メ流罪ノトキ一系院長徳

中ニ内大臣權周公モ權帥ニ任セリ 皆流罪ノ大臣ノ任スル例

大臣以下ノモノ、一ツララス三公ノ人、一ツ凡於帥者、今条所定、為高官ト、大宰權帥ハ位階モ高ク位ニ位ノ官之故、為高官也、故チ又重シク大中納之、職トイハニ華族ノ人モ任ク

況

大貳タニ 今之 和制トイヌテ近代例多ク參議散三位引上ノ職無シ三位階分リニテ居ルヲ散位ト云非參儀四位トイフテ監書ニ前官ノ參儀也トイリ漢唐ノ前官トイフラス又此ハイ中參儀ニナル四位ト云也 參議位階尙カ四位トイフテ參議ニナル四位ト云ニ參議ニナル四位ト云ニ前官トイフニカツテ名預トイフニ參議ト云リ 此ニ又參議ニ非カレ四位モ又任ル例也官職秘抄ニモツノ事トイフニ辨セリ四位ノ上トイフカニ又參議ニナル此四位ト云ニ此モ通例ノ四位非參議ト云ト大貳ニ任ルト云フナラ天子ノ侍流ヤ合格ノ人ヤナト云ヘアル人ナラ任ル有權帥者不任大貳 權ノ帥ト大貳ト一方アレハ一方ハ任セス兩方カラ並ヒ立テ置道クト云フハ無キ一ノ此所謂ハ知ラヌ一ノ兩方一取ニ並ヘ置ク一ハ無キ一ノ古來ノ流例也ト云也 是ノ一ノ名家ノ人ノ規模ト云フ一ノ大槻秘看ノ中ニ此官ニハ武勇ノ人ヲ任ズモ也ト云リ武勇ヲ好ム人ヲ任スルハ必外國ノ軍ヲ起ルモノト也 追要也此ヲ以テ武勇ヲ好ム人ハ易啓啓帶隙ニハカ少貳ニ 殊撰其人任之ト云ワクニキ人ヲハ任必ツ人ヲ撰ト用ヘ官職秘抄ト云フ人ノ撰ヤウハ九州ノ受領ヲ經タル人ヲ撰ト用ナリ 諸國ノ政ヲシテ知リ能ク事ヲ一ニモヨク知テ知テナルニツテ任クツト云ル之他國ノ不業内人ヲ任セハ国内ノ一ヲ不知ニハニ事カト云ナリテ不任ト云

監職掌事存内一切の政務ありツカサトル

六位ノ侍任之

典ジ 官職秘抄ニ監下典トハ帥ト大貳トヲ撰シテ天子之清ヲ任ス官也天子ヨリ仰セ付ラレニ非大宰府ノ帥大貳ハ相議ノ撰人天子へ清ヲ任ス監典者公卿給時キク依清任之ト云カソコト公卿給トハ前ニ去タル年給ノ一之春秋陰目ト云

臨

賜給給テ臨取内給ト云大宰府ヨリ清ヲ任スル請トハ此者ヲ監典ト云マ任シテ其ルト清ヲ云多其府中有縁之筆任之太宰ノカミケ縁アルモノ任ス此ヲ府官ト云監典トハ太宰府ノ官也此外傳キハ九列ノ學校奉行也大唐通支番客入朝ト云大唐ノ通支譯官也弘仁年中ニ對馬一ノ通事ヲ始テ置ル此下ニ大判支アリ公使沙汰ヲ判断スルモノアリ小判

古ト云モノモリ其外大レイニ小礼シ大工小工三人アリ此ハ大宰府ノ城郭ソコヤ舟楫ノ一ヤ軍兵ノ道具ヤ陰陽師匠丹國守ホアリ至船ト云ハ船ヲ主トル者モアリ太宰府者中ニ此諸官アリ筑前ノ博多至于今ノ蝦夷昌ル一之此ノ残りノ中古ハ美ハ新絶ス

筑前 上 魚為都督所帶 大宰ノ都督ノ帶ハツカサト

廻ノ守スケセウサツクハヤリ創ノ如ク他必ト曰ヤウニ立置ル一之キ吉波 和刺ニ由波ト云ム之イキトヨクス 對馬 此ヲ二島ト云

追要ハ外国邊塞ノ干要地ナリ 已上諸国之司謂之外官 都ノ百官ヲ内官ト云ハ諸国ニテ奈州ノカミスケセウサツクハ外官ト云春ノ縣石ノ豫目ニ任カレ者也然レは何ニ國ノ守ハ武勇ヲ以テソ人ヲ取ラズ徳ヲ以テ撰テ民人ヲ養フ牧伯トシナリ故

係

スカラズ書ノ見ヤウカバ^一誤ル^一ヨリ 卅八古ハ凡人カ大将ヲシテ見
例アリヤ^二菅相盛カ大将ヲ係^一シテ菅原氏^三ノ攝家清光ノ
如キヨキ家カラニハラス凡人^之又臣勢ノ野^是中納言^之カ大将
ヲ係^一シテ^一坂田村元^是等皆凡人^也厚和^ノキ良^年ノ
ヤ^聖大將ト成リ見^凡人^ノ真倉院ノ取手宗盛後鳥羽
ノ^昭頼^實皆凡人^ノ中納言大将ヲ^兼シテ^一鎌倉ノ右大将頼朝^也
皆凡人^也非攝家清光人^ノ也^凡人^ノト^下可見^ノ凡人^ノ大将ヲ^兼
尤^自身^ノ也^參議^之任^之例^參議^房前^公弘^仁等^亦ノ^百川
桓武^トキ^運曆^中大臣^ノ兼^右史^將ヲ^又置^ケリ^後二^条ノ^侍
道^明リ^カニ^例多^クシ^テ此^ニ引^レテ^凡人^ノ例^ノ仰^道ハ^サシ^テ人^ノ知^リ早^凡
先^テ泗^トヨリ^古年^例ヲ^引シ^ス 非^參議^トハ^三位^ノト^キ參^議任^之
凡^人カ^公參^議ニ^アラ^ズ三^位ト^イフ^心ニ^三位^トシ^テ參^議任^之也
シカ^カト^任セ^サル^云非^參議^ノ任^例ハ^氏盛^公也^氏宗^ハ房^前ノ
孫^也卅^非參^議ノ^任例^ハ二^アラ^ズ清^和ノ^兼和^五年^ニ中^納言^ニテ
兼^シテ^非參^議任^{タル}攝^ノ氏^君ノ^トシ^テ覺^ヘテ^准
后^ノ氏^宗ト^心得^テ此^ヲ攝^ノ職^原ニ^毎々^之旅^中ニ^テ
ソ^ラシ^ラレ^タル^ノト^出シ^タル^ニ也^ハ一^カハ^一攝^ノ
氏^キニ^ハ淳^和ノ^天長^十年^ニ三^月七^日ニ^位任^シ後^三月^ニ右^大將^ニ任^シ奈
良^九ノ^子也^近代^一 此^比量^ハ今^ラハ^多ク^ラル^ノ近^來ハ^めカ^ル也^也
子^キト^也 又^任大^將人^其職^掌大^畧曰^大臣^東守^位次^著座
許^也此^ノ一^段カ^ハカ^キト^言フ^ノ禮^ノ見^ニテ^一院^天將^ト
大臣^ハ武^官ト^シ官^トノ^子カ^ニテ^一職^掌ハ^ハカ^ニテ^一大臣^トト^ハ
因^テ大臣^ハ文^官ノ^棟上^首ノ^大將^ハ武^官ノ^上首^ノ職^ハ体^カ持^持
大^重サ^モ互^格テ^同ト^也 守^位次^一 此^バカ^リガ^大臣^トキ^カラ^ズ

眉

シカカト任セサル云非參議ノ任例ハ氏盛公也氏宗ハ房前ノ
孫也卅非參議ノ任例ハ二アラズ清和ノ兼和五年ニ中納言ニテ
兼シテ非參議任タル攝ノ氏君ノトシテ覺ヘテ准
后ノ氏宗ト心得テ此ヲ攝ノ職原ニ毎々之の旅中ニテ
ソラシラレタルノト出シタルニ也ハ一カハ一攝ノ
氏キニハ淳和ノ天長十年ニ三月七日ニ位任シ後三月ニ右大將ニ任シ奈
良九ノ子也近代 此比量ハ今ラハ多クラルノ近來ハめカル也也
子キト也 又任大將人其職掌大畧曰大臣東守位次著座
許也此ノ一段カハカキト言フノ禮ノ見ニテ一院天將ト
大臣ハ武官トシ官トノ子カニテ一職掌ハハカニテ大臣トトハ
因テ大臣ハ文官ノ棟上首ノ大將ハ武官ノ上首ノ職ハ体カ持持
大重サモ互格テ同ト也 守位次 此バカリガ大臣トキカラズ

天子ヨリ親王宣下リ世々源氏ト云親王ノ子ヤ孫マナ一世二世
源氏ト云也其人カ中納言ノキニ兼帯セラルル中納言ヨリ
カ是也一世源氏ハ西宮左大臣カナリ凡人任スル源ノ実朝
ノ父征夷將軍トシテ權威多ク任セタリ此ラハ常例ニテ
実朝ハ三位中納言ト右中將タリ曰七月ニ九中將ニ轉ス清華
ノ人參議ノ取ニ兼クイハ清和ノ參議ヲ不為何トモ參議大
臣由元ノ身朝廷ニテ平服スルヤリソレキヲウチテ任スル
家首者ニ指實朝トイリソノ相^祖ハ歷ク之家ニテ中古降下^官今
又高ク多クイハ之實朝ノ身是之世流罪ノ世ハ外レテモ法家
モトハ歷クモ中絶ノ中將ニ任スルヤリソレキヲウチテ任スル
淳和ノキニ源原ノ其野仁明ノキ文マノ秋津冬議テ中將兼
帯スル位ニ任中將此ハ歷クテハナラズ今ハ此ニ任スル位ノ
中將ニ任スル大方四位ノ中將ノ棋家清和ノ子ヤ孫ニテラセハ石
任之位階ト官トノお苗カ常ノイハ中將ハ四位カお苗ナリ位
階ハソト高ク官ハ下カ此ニ位階ト官トノお苗カサレヨクノ家カ
ラマシ人ニテラセハナラズイハ家カウカヨケハ位階ト官ノお苗カ
マハ自由ニ任スル他人ハ官ト位トカ櫻並ヒテクニ位ノ中將ニテ
間ナリニ系ノ中將ハ特ナリ例ノ古キ例ナリハ三位中將ハ御道殿
ノ子息頼家又普賢寺元道公ナリトカテ位中將ノ外ニ堀河ノ
左大臣源ノヨク又延喜ノ取時平公ナリトハ三位ノ中將ナリ二位中
將ハ執柄ノ家ニテ子ハ無^カ此例尤ナリトモ位^カ任スルカマテ無^カ
四五西園寺ノ実朝ニ任中將之世モ家カウカヨケハナリ常人ハナリトモ中將
ハ四位ノお苗カナリトモ位ノ取任スル家カウカヨケハナリ人ニテラセハ成テヌルノ勸
修寺家ニテ子茂トナリ延喜年中ニ任スル世々多ク無キ例ノ非大

相

四五

大將ハ他ノ役目無シタ禁中ノ守護ニシテハカテリ自
立名ヲシテ人ノ頭ハ至所ノ大役也 花人ヤ方納言ヤ辨官ナト
ヲ兼ルト云ハワカセシハ此ニハアカラヌ一ノワカセシヲラスハ此
等ノ職ハ大將ハ武官ニテ文官ノ花人ヤ辨官ナトノヤ智人
ル官ヲ兼テ子ト云ハヨククノ器量アルニハ此ニ女將ニシテ兼
ル規模トスル一ノ古例ハ忠仁ハ左將ニテ藏人頭ヲ兼テ其ノ負
任ハ天武年中花人頭ニテ左女將タリ 又辨官兼之 名家ノ人
カ辨官ヲハトシテ此ニ女將ハシクシテ一ノ甲林モマナリ 古ハ名家
勸修寺ノ家嘉加元ノトキ勸修寺ノモトトモ辨官ニシテ兼テ之
一ノリハヤスヤスニハ參議大辨方將此三職兼官ニシテ之
公達中トハ清光ノ中ノ大名アル人カ任之一ノ近代殊ニ此ニ
ル一ノ重シク一ノ少納言兼任 昭善公カ少納言ニシテ左將ヲ

兼ビタリハ將ヲ辨官ヲ兼ルハ昂此善ノ作者北畠准后モ少將
ヲ兼テ辨官ナリト云書量アル之武官ノモノ文官ノモノハ後
兼ルト云ハハハ器量無シハナラヌ一ノニハ文官ヲ兼ルハ希ナリ
將監 セリノ左右近衛ノ椽ナリ 延喜式ニハ將監四人トナリ後ニ
至テ負般不之林平ノ大儀ノ行ナルトキニ大將ヤ少將ニシテ
出テ勤役モ也 大儀中儀小儀ニ出テトシテト云ル一ノ縣石降目
ノトキモ降目ヲタテマシテ六位降大夫任之トハ地下ノ諸大夫也
代ニ降大夫トシテ公家ノ家ニルモノハ此トハカハリ名ハ曰ク実ニ
モナリト云ハ諸大夫ト云フハ古ノ所謂地下ノ侍ト云モ一ノ高直ノ地
下ノ諸大夫ト云フモノハ今ノ攝家ノ家ニ殿上人トナリ見テ其ノ家
上人ト云ハ攝家ノ家ニ奉テ居ルハ公家ノ二男ヤ三男カ
攝家ノ家ニ成リ九等ノ人ト云ハ人ノ近衛ノ殿上人ト云テ

居元ハ此カ古ノ地下ノ諸大夫ト云フモ也今ハ名カトウツヨリ呼
ルノ實ハ名ト實ト云リ午右ノ地下諸大夫六位侍ト一等ツ下
此ノ六位諸大夫ハ地下ノ諸大夫也今ノ攝家ノ家ニ殿上人ト云モ是
也職名ニハ諸大夫大等是ノ將監ハ六位ノ官ナリ五位ニ叙ラ去
之ハナリ他官イハレモ曰例ノ由ルヤナリ叙苗メ五位ニ成テモ近事ノ
將監ヲ兼帯スルハ他分執之メ名トナリ右近ノ將監ノ五位
ニ成リタルハ右近ノ將監トヨバズニ右近ノ大夫ト云左近ノ將監ノ五位
成タルハ左近ノ大夫ト云之左右近ノ將監トハ名呼ソ此ハ褒美ノ呼
フ也詳也大夫ト云カ師者存ノイハレ也故ニ左近ノ五位ニ成ル人ト云
大夫カ五位ノ異名ニ舞人ノ樂人ト古ハ別ナリ當
代ハ混ノラニ成リ樂人ノ中ヨリ舞人モ入リ今モ樂人ハ武官
任スルノ府生ヤ將曹ヤ將監ト成リ後ハ國ノ守任スルノ

人等飛彈ノ下國守ヲ申サルノ一ノ例トシ名一ノ女官ハ任セタル樂人
カ任スルノ一ハ女官ハ平生役事カ多ク兼テ此ラノ一ツトカカタニ氏
官ハ舞人ノトキナラズ用ハナキモソ樂人カ舞人ハ武官ノ属ノ常ニ
隙ナルモカ此ヲ勸メテ今ノ伶人ハ之ハ將曹ニ成リ次將監ニ成
リ後國ノ守皆曰一ノ此ハ五位ニ成テモヤナリ叙苗スルノ六位ノ諸
大夫ハ殊外ニ此ニ任スルナリ執ノ重シノ規模トスルノ此官ハ他官昇
進スル助道カ無リ此ニトナルリ此ノミニシテ此ノ五位叙苗スル天子
行幸ヤ御勤ノ行幸院ノ行幸ナト必樂人カ供奉スル此供奉
ノタメニ必叙苗スルノ位リタルノ此大夫ハ執令舞人ト云マクニ執
カマリテ大夫ノ此成ルナリ執令スルハ此ノ時監ヲ五位ニシテト云ハ此
次東宮中宮ノ大進ヘ入ル道アリソカラハ五位ノ為人ヘ入ル道アリ

朝觀

未々^ニ正^ニヨリメ他ノ官へ昇進スル道節凡夫ニ諸大夫ハ特外ニ執之
スニトテモ執スルイフハ官ニ規模九眉目ナル官マ或ハ官ハ
前^分身^分セリナキ尼後々ニ此官ヨリ他ノ官へ取ルト云道ノルチハ執
スルニタソノ官ニトマルガリテハ執スルノ諸大夫ノ執之モ將監ニ
ノクニ今^分位^分尼後日ソヨリ中宮東宮ノ大進^ニニモホリテ道ノリ大進
ヨリハ老位ノ為人ニタスルニテハ字^分執スルノ為人ニ成ルニ止
クスルツ諸大夫ノ上テハ九^分早^分テテ徑ルトロノノニ地下ニ於テハ極
ノイナリ執スルハツナリノ樂人舞人ハタノ任ルマテニテヤム之他ノ
ソニナシ故ニ執スルテ各守故実トイリ首書ニ任將監則有令
昇^分在^分ノ例^分トハ誤^分ニ地下ノモ^分昇^分殿^分ト云^分ハカテ無^分レ
六位侍任之 六位ノ侍ハ八者ノ極^分ヤ皆^分司^分ノ極^分ヲムソノ任ル
仕^分助^分ガチカラスルニ此將監下ノワ^分ニス^分リ或ハ執^分ノ任^分タルニ諸大夫

六位侍ヤナトハ不執^分ニ此^分チカイ^分ル^分ニサレ^分ニ六位ノ侍^分トハ不^分執^分任^分ノ
侍^分ハノ品^分下^分レ^分ル^分ニ此^分地下ノ諸大夫マテハ任^分ル^分出^分常^分ノ^分ニ六位ノ侍ハ
ホ^分マセ^分テハ任^分ス^分レ^分侍^分カ^分老^分位^分ニ成^分テ^分將^分監^分ヲ^分教^分首^分ス^分ル^分トイ^分フ^分ハ^分極^分ニ
テ^分曾^分ニ^分リ^分ノ^分例^分ナ^分キ^分レ^分諸^分大夫^分ハ^分教^分首^分ヲ^分ス^分ル^分於^分教^分首^分ハ^分六位^分侍^分ノ
ヲ^分ナ^分ク

將^分曹^分 サツクニシ^分ノ^分左右^分近^分衛^分ノ^分サツク^分ニシ^分近^分衛^分ト云^分者^分此^分將^分曹^分
ノ下^分ニ^分九^分屬^分官^分ノ^分六百^分人^分アリ

舞^分人^分樂^分人^分 近^分衛^分舍^分人^分ノ^分舍^分人^分ハ^分將^分曹^分府^分生^分ヲ^分ス^分ヘ^分テ^分云^分フ
近^分衛^分ト^分舍^分人^分ト^分ニ^分此^分下^分ノ^分屬^分ナ^分リ
屬官下役ノ名

府^分生^分 同^分前^分對^分任^分例^分上^分ノ^分將^分曹^分ニ^分曰^分
大^分將^分判^分檢^分之^分官^分也^分 判^分檢^分ノ^分ハ^分卷^分ニ^分出^分タ^分リ^分勅^分授^分奏^分授^分判^分授^分
ノ^分洋^分千^分前^分官^分 此^分府^分生^分ハ^分天^分子^分ヨ^分リ^分任^分セ^分ル^分官^分ニ^分テ^分ス^分近^分衛^分ノ^分大

授

將カ自云ニ人ヲ撰ニテ申上テ任スルヲ判授ト云非勅授ニ官
カカキサウリハ下役人ハ大方カ判授カカミテセウサウリハ
勅授奏授

番長 八人アリ近衛ヤ舎人ノ中ニ控テウノ人ヲ撰ニ用ニ是
亦近衛負救ス定 延喜式ニ八人トアリ尚代ハ秦氏ト下モ
氏下兩氏任之行幸ノトキニ先ハ出ツルモノ也大番長中番長
小番長アリ番長ニ字ツカイトヤトヨリ和歌ニワスメヤツ

カインヲサヲサキタテハニホフタチハナトヨメルモ此ク近衛モモルハ
ナメクリヤリクナ血抄ノ執リト也左近衛一人属官一人亥ノ
一刻カラ子ノ四刻マテメクリ右近衛ノ下カラモ同トク丑ノ一刻カ
ラ辰ノ四刻マテ門々チメクル内藏寮大藏寮へモ出テ番
ヲトムルモノフケナト何チギリケシト明ル歟ハ近衛ノ執行ヨ

コワリノ一ヲヨメルナリ

上皇執政若給兵仗 仗作扶遊けり 執政ハ攝政ノ一之上皇ハ
院リ院ヤ攝政ノ出御ノトキニ 武士ヲ召シシラレテ此ハ天子ヨリ
詔アリテ隨身兵仗賜アリヤリ 警言護ノ隨身ヲヨハルハ
賜ハ高節此ヲ將曹村生番長ヲヨハルハ本府ノ隨身ト云
院ハ十四人攝政十人大臣ノ大將ハ八人トアリ大中納言ニハ幾人
將ヲ將幾人ト云ナリ 院ハ將曹以下ヲ隨身ト云ハ將曹以下
十人ト云ク詔シレバ攝政將曹ハヨハルハ一ト云ス本府下ヲ召ツ
シラル也他家ヤ今ノ世ノメシツラレ、隨身ハ小隨身ト云ハ
ノ家侍隨身ト召シレバ、本府ノ隨身ト云ハ天子ヨリ賜ハ
近衛府ノ本府武士ヲ隨身トヨハルハ、大臣モ大將ヲ辭ス召ツ
シラレ又ウレハ兵仗賜ハ宜旨也ハタツシスハ大將ヲ僞ルハ

是ハ

素

家ヲハ素大臣ヨリテ大将ヲ為スル大臣ハカリ本府ヲ隨身ヲ名
シテハ一ノセテソノ供奉スルニ將曹存生番長ハ騎馬ニテ供テ
ス之近衛ハ步行ニテ供奉スル之後一多院ノトキ道長公方本
府ノ隨身ヲ名シテラタルコトナリ將曹カラコトクシテ名ナリ源氏
物諾ニテ例アリ源氏ノ大将ノトキ一多院ノ御禮ノトキ一代ニ度
イノシテ源氏物治ニ式部カケラキ行幸トイハリ此ヲ歌テ
ミハ秘テトテ傳授ニスルニ職原ニテハサマテノ秘テニテス此將
曹ヲ名シテ名シテラタルコトナリメウラレキトナリ常ニテ
大臣及左右一大臣モタハ名シテラレテトナラス左右大
將ヲ為スルハ必本府隨身ヲ名仕ルコト大臣ノ大将ハ八人ヲ名
仕テ大納言ノ大将ハ六人ノ院ハ將曹カラテ名シテラレテ大納言
大将ハ存生以下ヲシテ大臣ノ大将ハ八人ハ存生ヲ名加ヘテ名
シテラレテ也院ノハ各名ナリハ將曹カラテ名シテラレテ也

外衛 禁中ノ外ノ門ヲ守護スル也近衛ハ皇門ノ内御カキテ
守ル外ノ十二門ヲ守ルカ外衛也々々延喜式ニ諸官人ノ出入スル門
ヲ堅メ故ナキモノヲハ吟味メ通サヌソ官人ノ往來スルニモ此ヲハ此門
通ルト云々定リタルコトナリソトナリ人ノ名其籍ヲ付テテキテ往來ノトキ吟
味ス此ヲ門藉ト名テ胡ニ何時カラ門ヲ開キ暮ニハ何カラ門ヲ打云
コトナリ夜ニ入レハ門ノカギヲ三振門上テ小門アリコトカラ故ハ出入スル
故ハ特更キビシキコトニ第会ノ行ナルトキヤ大後ノ公事ノ行ナルトキ
ナリテ大切ニテナリテ大後トキナシテハ官人ノ中ソノ門ノヨリ出入
往來セヨコトナリトイフヤウナリモノハ許テ蒙テテテテ通ルコトナリ
左右衛門府 左衛門右衛門ナリ
元者衛士府 元ノ儀峨天皇ノ弘仁已前ナリ弘仁三年已後左右

衛門下名ヲ改ラレ令ラトモハ左衛士存右衛士存トナリソノ下衛士
トモト三員アリ式ハ五百人アリ一取モアリ古歌ニヨル衛士焼火ノ
歌ハモテヒルキツモノヲコソモハハル此亦ナリサ詠セリ今モ
御神樂ノトキヤ節ノウトキニ火ヲ燒クコト司トル役人也雜々ノ
ツカトル役人也ナラズモノモ、トナリ居ル存ルニハニ此ヨリノ衛士存
ト名存セタリ弘仁二年十月廿八日ノ格ニ改メテ衛門存トナリ
弘仁ハ嵯峨天皇ヲ年号也

督一人 左衛門右衛門ノカミ也 職員令ニ此ノ督ノツカトリ
リ宮掖トテ宮中掖門ヲセウハ陣ノ一ノタイハ官人ノトナリ
処ヲイフ依ハ儀仗ノオコタテヲタテ、ソノ処ヲ儀仗ノトキニ警言固
メ守ル也 以吹巡見ストハツサトリノ門々ヲ巡見シメルノ概此
下ニ凡おエノ名藉ヲツカサトリ差深ハソレノナニタテ下役人ナ

差ラカク役ヲ課スリ大儀陳設トハ禁中大儀ノ行ハルトキ予ヤ楯
ヲ処クニ設テテ兵仗等ヲタテ、警言固スルノ概車加馬ノ前駈後殿
トナシキハライヤレツ、ハラヤトナリトナリト吹ノ鼓ヲオカ寅ノニ刻ナリ
ツカサトリテ近衛者ノ諸役人ヨリ外衛マテノ人カタクニ北東ノ
守処ハヨリテ、守護スルノ大義中義ノ目モ皆出ルルノ早竟ハ
宮中ノ守ヲトシカモ要ノ役目ナシ也 左衛門督者為中納言
参議之人中納言参議歴々ノ官ノ官職秘抄ニ中納言参議ノ
公達ノ歴々カ任セリ、近代諸大夫カ任ヨリ今ハ品サトリタリ、
ツカサトリテ参議ノ任ハツナリ非参儀トハトタ参議トナリニ位
ニ任人ヨナリ、在位ノ位階ナリテ居人ノ此ヲ非参儀トナリ
非参議ノ任例ハ無ナリト也 但原頼家朝臣ノ頼家任在
ニテ前官也是亦非参議リ頼朝ノ子ノ土御門院ノ白河二年ニ

任大別義下此常ノ例トハセ之ヲ一ノ関東武成ノ盛ナリ
 權ハ任セタリ一ノ他ノ例トハセ之ヲ一ノ四位ニ任スル
 二任ニ任セタリ一ノ四府之中一ノ古キ物治トトニ左門督
 カリ殿上格ス 四府ノ左右門右近事ヲモイフ此処ノ四府ノ左右
 ノ兵士ト左右門府ト合テ四府トモ也 首肩ノ説一段モ殊執
 之トハ左右門中檢非違使ヲ兼ルニソ檢トイ使ハハハ威勢
 ノカニ矩模カ官ナリ 此カラハ必檢非違使ヲ兼ルニハ子ノ人トニ
 批シテノソム一ノ他三府ハ檢トイ使ヲ兼ルニハ無ク
 右門督者 ^{エモノカニ} 右門ナウモカニトヨクズウチ畧ノモカニト
 読ヘシ 左門督ハヤリサモカニトの読 板左右ナ並シハ何
 官ナモ左カスククタツ右ハナトレリ中將テモ右カ上ノ右ハ下ニシヨリ
 ト勝カハナケレ右ヨリハトウテモ左カ品カヨキノ非參議任之

二位三位ノイマリ參議ニテ又人ヲ非參議トシ非參議ノ任例ハ清和
 天皇ノトキ大江ノ音人^{ネンド} 朱雀ノトキ友房ノ忠文 二条院ノトキ信賴
 此中納言ニテ右門中督ヲ兼之ヨリ 非參議之四位 首肩前
 官ノ參議モトイリ誤ナリ 各々々參議ニ任セ凡四位ノ令云
 九処ヨリ 前官ノ一ニ用ルルモレハ見未ハ三位 四位ガ居テイニタ參
 議ノ官ナキ人ナシトシニ三位ニテ非參議ノ例ノ非參議ノ三位
 ハ任ス此ハ參議ニ任スキ人ノ多ク不成參議モ也 四位例無ク
 佐 一人 ^{エモノカニ} 左右氏ニアリ 禁秘抄ニ公達中任ク
 殿上人ナトノ任スル一ノ清大夫ノ任スルハ規模トスル一トイリ
 權佐一人 名家譜第 名家ハ日野 勸修寺家ナリ必
 蒙使宣旨一 此東門ノ權佐カ必檢非イ使ノスケニ任スル一
 此ヲ使ノ宣旨ヲ蒙トスル一 且非任ニ此ノ權佐カ檢非イ使ノ佐

ニ任ル一見是ハナクワトモハ不審ナリ正ノ佐コリ檢ヒイレ佐任スハ
キ一ナル云フ佐ハナクステテ却テ權ノ佐カ成ル一ハハ正ノ佐ハ
衛門ノ役目カ大ナルニ他官ヲテチ兼テツトメテハワカ役ノ本職カ
失ニ不任ニ云ニ檢非イ使ノ佐チ兼ル一ハナク又ソ權佐ノ役カレキト
聞クナク故ニ他官ヲ兼テモ本職カカレハナク又ニ兼テイ使
ノ也右衛門ノ佐トシハ檢非イ使ノ佐チ兼ル一ハナク又ソ權佐ノ役カ
在ノ兼人ノ補セラル下地ノ在兼人ノ補セラル兼人ノ任スル
道アリ兼人ノ任カラ參議ヘスムソ參議任スルハ公卿ニ列スル大
正昇進ガ新ハナリ云ニ此ノ權佐チハ檢非イ使ノ佐チ兼ル一ハ
非イ使ノ宣旨ヲ蒙ル一ソレカカ人ニ任ルソレニ云ニ此ノ權佐チ兼ル一ハ
尉ビリ 同シ尉ニモ兵部ノ尉チムリツトメタルカ此ニ任ル一ハ此尉ノ顯
官也使ノ宣旨ヲ蒙ル一檢非違使ノ尉ニ任ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ

外ニテ眉目ナク職ヲ顯官顯職ト云セリ一ハ前ニ并セリ他ノ
尉ノ侍任ナリ此ハ顯官ナル云ニ諸大夫カ任スル一ハ尤侍ニ任ル一ハ
ハ諸大夫ノ任也ナリ任ナリ任ナリ一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ
ノ是非ノ沙汰ニカマヌヤウニ成来リ一ハ此ノ無念ノ事ナリ一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ
ヤスリニ任ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ
蒙テ檢非イ使ノ佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ
テ一他ニ異ナル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ
無キ一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ
檢非イ使ノ佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ
在位ニ昇進シテモ左衛門ノ尉チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ
使ノ外ノ人ハ叙苗スル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ
スル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ此ノ權佐チ兼ル一ハ

ノ尉イモ多クあし檢非イ使ノ処アリ今ハ檢非イ使ヲ為子サレ
人モ教道ス

志^{サツシ} 此ハ明法道ノ人檢ヒイ使ノサツシニ成リ^ト此ヲ道志ト
志也明法道ノ人サツシタル心ヨリ前ニツノ^トハ出タリ他^トサツシ
ハ重シ

府生 あり諸官自例

左右兵部府 立^レ兵部府ヲ置シセル已前ハ兵部府内ノ教言
固去^レ外^レタル^レ之^レ由事ヲ置ヒテヨリ已後ハ此ハ内門ヨリ内ヲ守ル也外
外^レ由事ヨリ中^レハ兵部^レノ内ハ兵部 中ハ兵部 外ハ外也

督一人 此下ノ属官ニ兵部ト云セ^レアリノ督カ^レリ^レヲ引^レマ^レト
此ハ内門ヲ固メ^レイ^レタル^レサ^レニ^レツ^レノ兵未^レ等^レノ名帳ヲ引^レマ^レト^レタ
兵部ハ四百人アリ此下ニ吏府直^レム^レキ^レヤリ

中納言参議——此^レノ人ノ任^レル^レ公卿ノ任官^レト也
佐

權佐 五位上人中^レの能^レ——五位上ハ此^レノ人^レノ上^レヲ聽^レリ
凡人^レハ英雄強^レ治^レ王^レト^レハ公達家^レヤ英雄ノ人ハ清花^レノ清花^レヤ公
君家^レニ^レチ^レカ^レチ^レ權佐^レハ此^レ也^レ清花^レト^レハ此^レヲ^レマ^レシ^レ侍^レ格^レヲ^レ將
中將^レヘ^レス^レニ^レヨ^レリ^レ家^レカ^レヨ^レス^レニ^レ此^レヲ^レ權佐^レカラ^レ徑^レ登^レセ^レ又^レカ^レ將^レハ此
權佐^レヨリモ品^レカ^レル^レカ^レヨ^レス^レ清花^レハ此^レヲ^レマ^レシ^レ少將^レカ^レル^レニ^レ
此^レノ^レハ^レ也^レ

尉 此^レヲ^レセ^レウ^レモ大儀^レノ行^レカ^レキ^レ近^レ来^レノ鼓^レノ聲^レヲ^レ聞^レテ^レ旗^レヲ
立^レ裝^レ束^レト^レノ^レ嚴^レ出^レ之^レ門^レヲ^レ守^レル^レ也^レ
六位諸大夫——此^レノ兵部^レノ下^レニ^レハ檢非^レイ^レ使^レヲ^レカ^レス^レト^レニ^レ故^レニ^レ内
府ヨリハ尉^レ高^レカ^レト^レリ^レ六位^レ侍^レヤ^レ諸大夫^レヤ^レト^レカ^レ任^レル^レ也^レ侍^レハ下

便

ノ一侍世尉成リツカテ東門ノ尉(轉)スルツ左東門尉(成)ニ成
ル檢非イ使ノ尉ヲ經ズ直クニ左東門ノ尉ニ成ソ侍ハマツ世ヲ經
子今ヲスルツカテ檢非イ使ヘウルツ
志 左東門ノ尉ハヨクハヨクフカニイカレ世ヲ世ヲハバマリ人々
ヲスリ檢非イ使ヘウル檢非イ使カ無キニ非要官也世下ニモ属
官氏ヨクヨリ東門存ト同シ
存生

練

左右馬寮 左馬寮 右馬寮 左右馬寮ノ世中ノ天子御馬ヲ
御用ノ侍馬也寮ノ侍馬ト云見也 馬寮馬ノ調習ハソレナリナラハシ
經テ一ノ養飼ハムカキヤウノ立馬ノ放馬ト御リツ法延喜式
ニ詳ニ米三升豆三升ナリト定ル料アリ 馬ハ馬ガリニアラス
牛ヲモ牧テ一ノ車ニ駕スルトキ入ルタメク彼ノ馬牛氏ニ養テ一
七月巳前書中ヲカヒ七月巳後ハ于中ヲ飼フ一ノ供御ハ天子
ノ御石ノ之ノ乗具ハソノ馬道具ノ配給ハホシクナリナリトナ
合セ配當人給フ一ノ飼部ハカイヘト訓ス馬ヲカウモノ也世ノ飼部
ト云モノ幾タリモヨリメシク家ヲ持テナルソノ戸口ノ家ニ幾人アリト
人ノ負ミテチ名籍ニシルソノ飼部ノ者凡コテノ扶持ヤ切米ニテ
此ノカテ指引メワタス一ノ世外ニ天下諸国ヨリ毎年負スル牧ノ
御馬ヲ御用ニ延喜式ニ御牧トテ諸国ニアリ 甲斐ノ国相崎ノ
牧所ノ牧方野ノ牧トテ一ノ信濃國ヨリ大分ニ馬カ来ル一ノ

モテツキ
聖王月ノ牧ト云フ信州ニ次テハカウツケノ国カ多クイソ申斐カカラ
六正武苑ヨリカキト云ヤウニ定リテ毎年貢献ス遠國
ヨリ西走ツ駿河國ヨリハ馬幾也牛四也古ニ牛馬凡ニ貢
ツ牧々ニテ駒ト牛トニヤトキ毎年ソノ國ノ國司ト牧ノ長ガ相
討ノ吟味ノ天子貢スヘキヲ見立テ養フテソノ貢スル馬牛
官ト云フ馬ニハ左服ニ仰テ牛ニハ右ノ服ニ押スソノ
ノ貢献馬ニハ毛付テテ毎年ノミツキ使ニテ奉ルテ毎年
加茂等々大原等ノ神ノ御所ニ引馬カスルトキニ此察ヨリ
出スルモ加茂等引ルノ神ニテ今ハ純タリ公家ノ馬ニカ
八月ニ駒引ト云フヤリ今ハ戸ヨリ毎年八月ニ献セラルル正
親ニ系カ定テ拜領セラルルニ世古ノ遺法ニ世外御監ト
テ大將ノ任カレテ天下ノ馬ノイサウヤトリ知ル今モ公方家

ノ御任官ト成レリ當代ニ
東武柳管御任官ニ馬ノ御監ト
云テ御任官ト云フ天下ノ馬ヲ知リ用フヤリ南馬兵馬ノ御
ヘテツカサレ也毎年四月廿八日天子馬ノ御監ト云フヤリ
ノ馬察ヨリ馬ノ名ヲ書付テ御監ヘ奉ル御監カレテヤトリ
テ奏聞ス五月ノキツク馬ニモ騎射カ立ツテ馬ヲリテユミ
ノソレモ出ルルノ國ト毛付テ奉ルテ知察務時尤為重
職 此百カキヨト三ハキニヤウノ馬察ノ臣ナレハ察務ヲ
知ルキノ知ラヌ味トイフハハルニキ一知トキハ重職トイフ
ナリテ不重ノ立ツテ此カウツケノ一説ニ古ハ御牧カ國々
アリタトキハ左右馬察ノ臣カ天下ノ馬ノイサウヤトリテ察務
ヲ知テ諸方カテ餘勢アリテ重職タリニ近代ヲトヒテカス
諸國ノ馬モ貢スルニ云ナリ馬察ノ臣ニリナリテ居ルニミナ

寮務ノ兵クハカロシトシ職カ後世ニあるハ輕ク成リ
トシ説非ク一説右流ノ如キハアテ此ハ左馬院ナリ右馬院
ナリ位階ノ上臈カ寮務ヲ知ルノ左馬カ右馬カ一方ニ寮務ノ
支配ヲハツキトシテ一方ノ上首ノ寮務ヲカサレモカ諸国ノ
牧ヲ知テ諸国ノ事クハ馬ヲナシスルニ至職ト也而カテテ
寮務ヲ知ラシ二人ハナシトテテモ一方カ知ル也サテハ重
職ニアストク是説ナリ

頼

権頭一人 スケノ古代ハ五辻ノ力権頭ノ左馬権頭ナリ今ハ
諸大夫カ任ス源家ノ侍モ中古ニ來任スルニ成リ一條院ノ満
仲カ任テ親光義朝後鳥羽院ノ東義仲後醍醐ノキハ足利
ノタビヨシ朝臣任テ皆武家ノ任タル例也
助一人 他官ノ助ハ六位ノ任テ此ハ左位ノ他ノ諸司ノ撰ナリ

品カ一等ノスクシタリ満仲カ左馬ノ権ノ助ヨリ左馬ノ頭ニ任セリ
義朝ノ助ヨリ以テ成リ右位ノ侍眉目トスルニハニテ特外ニ批
スル

元 毎羊除目トキ滝口ノ中ニ臈ヲウミタル久キモカ官ニ任セ
ニハ必セウニ任セリトシ滝口ノ古ハ官ニ任セリトシ加シテトシ龜山
院ノトキ文永年中ニハタテ滝口ノ侍ノ上首タル上日ノ弟ナシク
ツメタル一人ツクナ官ニ任セリトシ成リトシ此ハ左位ノ頭ニ任セリ大
方ハ左馬ノ元ニ任セリ也

属 世下ニ馬醫 司馬 卒人 飼部 頭不 直丁ナリ
兵庫寮 ヲハテ、道具ヲ入ル花ナリモ也武具ノ花ナリ唐
ノ武庫トテ同シ今ノトキハ左右ニ分シテ左兵庫右兵庫ナリ
又内兵庫ナリニシテ醍醐天皇ノキハ左右ナリトシ合セ

内兵庫ハ平城天皇ノトキ大同三年ニツク合セテ三ノ兵庫カワニセリ
内兵庫モヤメニセリ

職官々曰 兵庫院一人掌左兵庫儀仗兵器安置得所出納
察及受事覆奏事

儀仗ト云又兵器ト云フツル品カワルルノ知地別ヲ知ヘシ儀仗ト云ハ
朝儀ノトキカガリ道具ノホコタテテノ節会トキナド殿庭ニタツル

鉄

木^テ造シヤリキナリモツヤイバテ儀仗ト云兵器ト云ハコトノ鉄
ホコタテノルイ木ニテ作ルモ也軍用ノタメニラサル儀仗ノ并リモツ

ナリ安置ハツク花^ヘチメテトク^トメ^クニ^ニ処^ニ有^テ花^ヲ四^重
ニメ二三四下次方^シ上ノ一重ハ大如中ニハ甲冑下ニハ馬ノ鞍馬具
ナ具^ヘ置^クト云ヤウナルヲ^ハ安置得^ル処^トイフ^ク出納^ハツク出入^ク曉

原^ノ儀^ハ虫^ホシ^ラニ^タリ^ナサ^メタ^リ受^事一^トハ^右近^左近^来ヨリ^今ハ
何^クカ^入ホ^トニ^トテ^取ニ^本レ^ルキ^上へ^奏メ^出シ^テア^タヘ^ルテ^覆奏^ト云^女

職^秘抄^ニ公^達ヤ^此夫^力任^スト^イフ^リ平^政盛^源於^政任^之
世^ノ并^リガ^元目^ヤ所^修行^ヒト^キヤ^鳥ノ^旗ヒ^カワ^ノタ^マ青

鐘

鐘^ノ節^会ナ^リ兵^庫寮^ノ征^鼓鐘^ヲ打^ルリ^節位^ノ山^トニ^モ兵
庫^寮ノ^鉦鼓^鐘ノ^山アリ^兵庫^寮ヨリ^打リ^外兵^ノ鼓^ヲ打^ルハ

外^兵カ^スニ^内兵^ノハ^内兵^ノ外^兵ノ^内兵^ノ大臣^ノ進^退ス^モト
ク^リ兵^庫寮^ノ鼓^聲ニ^從テ^進退^ス一^ノ列^ヲ立^シモ^是モ^テ相

圖^トス^兵具^儀仗^等ノ^道具^カ破^損ナ^ルハ^修理^ヲシ^タリ^ツク^口
ノ^テ収^置ク^マテ^ナリ^ツカ^トル^ソ一^切武^具ア^リナ^リ

助 権

一に軍切のイニイテ賞行ふ。勲切トス多ク勲一等勲二等勲
三等トナリテ等分ナク如何ヤウニス今ノ考得スル身
ニ着見袍モ勲ヨリテ替リル一令ノ軍法令ニ見テ多ク軍切ヨリテ
賞爵ヲタスルトイフ古ノ勲十二等ノ一トス今ノ世無ク元帥字
左傳ノ定ニ其居処謂之幕府將軍ノ居処ヲ幕府トイフ大
將軍ハ軍ヲトキイテユクヤクニ征伐シテアリクニ定メテ常居
無クシテ軍場ニナリテ營ヲ張ルル処カ直將軍ノ居テ幕ヲ引テ
居テ定ム故ニ幕府ト云陣屋ヲ指テスルニ世ヨリ將軍ノ稱ナリ
ナリ幕下トモウ古ノ將帥ヲツカハスルカ方ク一令ノ軍法令ノ
軍兵ノ賦リヤウモ法アリ一兵ノ定ムルニ万人ニ及ハズ將一人副將
軍二人軍監四人トナリテ五千人以テ六副將ヲ二人中一人疾欠四
人トスルカ方ク律令ノ軍法令ニ考メルニ世ノ世ノ下トイフモ
將軍ノ一ノ魔今ノザイノ採帯ノ大将ハ魔ナリトテ法軍勢ヲ
指揮スルニ下ノ戲字ハ旌旗ノ一ノ師古曰戲謂軍之旌麾也
常ノ本ニ謂フ字ヲ作諸字ハ誤ナリ傳字ノ誤也軍中ノ旌麾也
又將帥有賜節鉞之制節ハ一節ヲ賜フトテシテ一ノ節毛
ヲサホニ付タルニシテ節度ト云ニ天子ヨリ節度ヲ賜ハル一ノ鉞ハ
一ノ斧也斧ヲ金ナルニ節シルナリ將帥ニ命セラレタルニシテ
日本ニテ六節度ナリ一節ノ刀ヲ賜ハル一ノ天子ヨリシテ一ノ鉞
ヲ節ノ刀ト云中華ノ節度ヲ賜フト曰フニシテ一ノ習テセラレ
斧鉞ハ將軍ノ征伐ニ法ヲ用テテハ刑戮ヲ專ニセヨトナリ世ハ
將軍ノ威權ヲ盛ニ重クセシメテナリ不如才ハ將軍ノ威權輕クメ
士卒大將ノ命ヲ不用法ニシムキ違フ者多ク軍令法律難立
ユナリ

本朝將帥之任——世ヨリ日本ノ將軍ノ起リテ云リ將帥ノ人
神代ヨリ始メリ 天照大神欲降天孫 天孫トハ皇孫也
云 天照天神ノ耳々梓命ヲ曲マテ中津國ニ降シテ此國ヲ治
メテ天トカウシテキノ一ノ經津主ト健雷神 此トキハ大將副將
軍ノ名ハ無シト後世ヨリ此ヲテミシハ經津主ハ將軍ニテリ健
雷ハ副將軍ト云リ此ヨリ已前二人ヲ遣メ治メ玉ヘ凡不召ニ再
此ヲサテ遣ユフ之 香取ノ神 今ハ香取ト云經津主ヲ一ノ
不順ニテ口バズト割ス不帰順メ命ニ方フモノヲ云大物主神トハ大
貴神ノ一ノ也鳥老鳥命ノ子ノイニタ天孫ノ降玉ハストキハソノ
皇朝ハ此大物主カ世界ノ主ナリ此神ヲ持テ居ニタリ此カ十
万神ヲ帥テ天ニ昇レリ此ハ日本紀ノ或書云トイフノ也一ノ或書
ノ説ナリトイフ此ハ引レタリ帥ハ十萬神ノ帥トイフ大將將帥ノ
云リ云ニ世々ニ引レタリ 天神初曰 此天神トイフハ高產靈
神ヲ指テイルガヨシノ神初ニ日本紀ニ取高皇產靈尊初大物主神
汝若云云トアリ 皇孫ト云ムヘニ皇孫モ天孫トイフモ同ノ父方ヨリ
ハ天孫之母方カライハ皇孫ト云フ奉養乃使還降之云云 此取將
軍トイフ名ヲ云テ仰セ付ラレニ此取神ハ諸ノ神ヲヒキユルイハ自ラ
大將帥ト云リ一書曰 此ハ日本紀ニハ無シ此更ハ准后作ノ元集
ノ中ニテリ神皇實錄中ノ治ルルヘニ表代王ハ大貴神ノ子ナリハカノ
鬼類天神將也 大神將トイヘル是モ將帥ト云ヘニ是ヲ引ク也
又曰大伴云云此ハ又日本紀ノ説也 大伴ヲサホトモトヨムカラス云ニ
字トシトモトヨムヘニ淳和天皇ノ御遺言ヲサホトモト申スルヲ避ケテ
ヨリ代々天子ノ御前ノ海ニモトモトヨリヨミ來シカ例トセリ昔
一昔ハ也ナカク天磐言 磐者トハ今ノ伺トイフニ平服ト

校

此ヲヤカニ員タル天盤トハ堅固ニカタキナリ神書ニハ天盤ト書ク
 例ノ臍^{ヒナキ}高柄^{カカガ}ト云ハ弓ヲ射ルヤキニハルモ也弓小キハイヘリ
 又悦ニ弓ヲ弦ハキノ一ニ答^ホ田ノ一ノ氏ノ一ニ答田ハトカ^モリ
 吉部秘刊ト書骨ニハトモテ圖カ出テアリトモ六カケノ一ト見タリ
 校威トハ威^{カキ}トイテ高キトイフヨリソノホヒノ威^{カキ}トイテイタリ
 施^{カキ}又香山ノナリ木ノ弓ノ羽矢トハ二羽ノ矢也トイヘリ古ハ矢ニ
 羽ノ大抵ハ三羽也今モ神宮ニハ二羽ニハグノ二羽ニハギタル矢ナリ
 サレドモ二羽ニヨリトイヘリ矢ノハ二羽ニ橋^{カキ}カキヨシトイフ名トイカ
 元ノ二羽トイテハキヨ又ツ見ハタニスルトニ利^{カキ}トイテ羽トキニ用ユ羽羽
 矢羽羽弓モルハニ利^{カキ}トイテ矢ノ心ニ見^{カキ}ハ八目トハカケルヤ
 トハ神書ニハ古貴ノ一ニハモ辨^{カキ}カトシカレハカワラナリ
 スカレハハ射^{カキ}トイテモク御音^{カキ}ノ鳴^{カキ}ノ之^{カキ}頭^{カキ}櫃^{カキ}銀^{カキ}トハ銀^{カキ}トイテ
 頭^{カキ}ト大ニセ九^{カキ}銀^{カキ}トイテ此ニモサマクノ説^{カキ}トイテ他ノ説^{カキ}ハ不可用也天孫
 之前^{カキ}ト云此ノ銀^{カキ}トイテカメシキ大將軍ノ出立休也將帥ノ器量
 骨カラノ体ナリトイテ此ニテ將帥ノ將軍ノ起リノイテイリ神代ノ
 大將ト云名ハカスメ自ラ大將ノ任ハアリシト云フノ引^{カキ}カトイテ神
 代ノ別大將ノ任^{カキ}アリシト粗^{カキ}ノ見^{カキ}ト也至^{カキ}千人代神武天皇東^{カキ}征^{カキ}之
 日物部氏遠祖道臣命道臣ハ物部氏遠祖ニハ非スニ至^{カキ}速^{カキ}
 火^{カキ}ノ余^{カキ}トイテ物部氏ノ遠祖ナレ准^{カキ}后^{カキ}ノ覺^{カキ}トイテカレハカレハ皆^{カキ}羈^{カキ}旅^{カキ}
 中^{カキ}誦^{カキ}トイテ骨^{カキ}カレハカレハ道^{カキ}ノ臣^{カキ}命^{カキ}ハ大伴^{カキ}氏^{カキ}ノ祖^{カキ}ナリ後^{カキ}カレハ此^{カキ}ニ
 大伴氏遠祖トイテ骨^{カキ}カレハカレハ古^{カキ}稱^{カキ}武^{カキ}士^{カキ}云^{カキ}物^{カキ}部^{カキ}此^{カキ}モモ^{カキ}傳^{カキ}ノ説^{カキ}ナリ
 タニカニ實^{カキ}祖^{カキ}ニカレハ非^{カキ}崇^{カキ}神^{カキ}天皇十年命^{カキ}四^{カキ}道^{カキ}將^{カキ}軍^{カキ}
 見^{カキ}テ日本紀崇^{カキ}神^{カキ}紀^{カキ}景^{カキ}行^{カキ}天皇四十年仁^{カキ}王^{カキ}十二代ノ日本武^{カキ}ハ
 大將軍ニナリ武^{カキ}是^{カキ}武^{カキ}彦^{カキ}左右ノ兩將軍ナリ副將軍ニナリ

本 夕方副將東將ノ別ハ之ニ凡ソ一カソヤナレハソ心ノ蝦夷ハ吾ソノ
東夷也爾來人命將軍不可勝数 官職唯後中代々ノ
將軍ヲ遣シ之ヲ奉タリ新羅ニシテ高麗ニ百濟ニシテ
神功后宮ノ三韓臣治ノ人ノ口ニトシテ人ノ口ニトシテ
歸不費ナレ 懇欵 懇ハ多シト云フ 懇ハ一雨ニシテ
スルノ歸服ノ一特ヲ撰スニ唐書ニ納欵ト云フ 薛ト云フ 彼國
置日本府此日本紀ヲ考ルニ此ニ百濟ニ置日本府ト云フト云
代ニ云フ日本紀ニ仁德ノ時此ノ宿根ヲ百濟ノ遣メ百濟
國ノ去也ニ勝示ヲ若リ此日本書ヨリ人ヲツクテ治スノ入懇欵
夕方ノ任那國ノ一任那ヲミマナト洲ス百濟國ノ丘所ノ國ノ
小國ノ三韓ヨリタラキ来リ侵タリソニ日本府ヲ置テ今
遣テ治メシメタルニ此ニ百濟ノ一ト云フ日本紀ニ
任那ノ國ノ一ヨリ日本府ヲ立テ鎮守府ヲ置テ人ヲ遣メ治メシメ
夕方ノ日本紀ニ鎮守府ノ別名ハ出テス也鎮守府ノ始ヲ此ニ在レト云フ
然レニ云フト知スルノ義代何トシテ始メテ鎮守府ヲ置タルハ今
更ニ考ルニ此ノ勘入或人説ニ統日本紀武文天皇ノ興寧二年
乙未始トスヘイヨリシニ始メテ始ト云フカクニ

德

趙

聖武天皇神宇陸奥國置鎮守府 天平宝字九年ノ一ノ
環翠抄ニ天平宝字九年ト云ハ誤リナリ九年ノ征夷大將軍臨
貳置メハ征夷將軍ノ号ハ常任定リテ立テ官ニテス征夷
ノ一ハ此官ヲ命セリト云フ無兵乱事トキハ設ク故臨貳置メ
イリ鎮守將軍ハ常ニ没ラリ征夷將軍ハ常ニ無ク古此運ノ
賴朝日美ハカワテ征夷將軍ヲ武家ノ任ナリテ代々聯綿ニ在
来リテ却テ常ニ定メ官トナリ 却テ鎮守府ハ絶タリ

鎮守府 前ノ六年國ノ処ニシテ此府奥州ニカ限チアリ

將軍 古来カノ主寄 天平宝字九年二月十九日大野胡臣

東人ト鎮守府將軍ト成リ 坪右又ノ文ニモアリ 石文ナニモ

又人ノ州人カ鎮守府將軍ノ始ナリ 中古来ハ四五百年來

ノ一ニ為陸奥守 一 望田村カ陸奥守ニシテ鎮守府將軍

ヲ為シタリ 此カ始ナリ 尤モヨリニモ多ク天カ鎮守府將軍ヲ

為シタリ 此カ名可シ言ヒタリ 守者宜ナリ 一 吏幹吏不

守ノイニツク任ニ堪タル武勇器量ノ人ヲ扱ヒキト也 陸奥守

カカシマカキト訓ス天子ヲスイカクスガキカ也 又昔云云陸奥守ト

鎮守府將軍トツテ並置ス 一 奥州ハ特外ニ土地カ廣キ且ニ又

邊要地ニモ邊塞ノ大要害地ニ國ノ守分リニテハ治リカヌルモナリ

信夫郡 一 奥州ノ郡名ニ祖ハ男ノクカヲトシテ後ノ貢物

公解 一 解ハ守介掾目ノ官名ナリ 公解ノ田トテ田地アリ

トルノ元来公解ハ官名ノ名ニ前田ト云ハ此モ奥州ノ郡名ニ今ハ

カカシマホリトイフ此ハ兵糧ノ用ニ充ト也 見格 此ノ首層ノ帝判弘

仁格トイフ非也唯廣シ古ノ格式トイフニモ 見 弘仁格トイフ

指名ニ非一書ヲ名テカラス 又邊要之中ハ四方邊要ノ國

中之奥州カカ一最トス 干要ノ地ト也 仍此國昔置五千人兵也

此ハ何ノ層ニモ見ヘサル 一 運喜式ノ兵部式ニ陸奥國ニ五百人出羽國

五百人置クトナリアリ 若クハ千ノ字百ノ字ヲ傳寫ノ誤ナリト云ヘキカ

白解ノ説ニ百官唐名抄ヲ引テ九十代後醍醐天皇ノ詔ニテ

置五千人トナリトイフ 百官唐名抄今石見ニ見シハ考ナキモ此ノ

出處見ニタトヘ出處ノアルモヨク 此處ノ文段ニ昔置五千人後

醍醐上皇准后之取天子之治也昔上皇之御宇前朝也ハハルニ
三 昔上皇之御宇建武後醍醐天皇也建武五年詔
三位上皇守府將軍元人ニ大守加ヘテ位ニトシテ此ノ國
司ノ請奏トハ國司ノ方ヨリ請ヒ申セリ此ノ國司ハ准后ノ
子息顯家ノ之顯家ノ位ニヨリ大守ヲ加ヘラレシ極大守也
レタル顯家ハ三位位階人ノ職ヨリ六カニ位階カハルカ高ク
シテ職ハ將軍ハたある者ノ官也位下職トカワリ又々シ絶ハ職
カハルカニテリテ見テ職カヒキレハ権威カ不重ノ下々ノ官也
ホカ不計ノ輕クカ之ニ重クセシタメニ大守ヲ清ノ位階トシテ合
フヤウニテ大將ノ職ヲ重クセシタメニ官位トカサセシタメニ此
タカカニリカ不知マシキハ顯家カ國司ナリ
副將軍ナリ 大將軍ハカニマナリ副ハステ軍監也
軍曹ハカニマナリ 中古以來ハ副將ヲ任セス後鳥羽院ノ時頼

朝將軍ニ任マラシメ副將ヲヤミタリ副將軍カバ大將成
カカレテ権カ輕クナルニテ中古後鳥羽院ノ建久日後也頼朝
軍監 官位ニ在ル

軍曹 官位ニ在ル

申 近代公卿給トイフ春ノ條目トモ公ニ給ハル年格ナリ此ノ古クハ申
此ノ公ニ給トイフ申シ清テ給スルノハルニシキトテ太宰府カ
太宰府ハ各別ノ事ナリトテ申セリ此ノ軍官ナレバ公卿給トイ
謂 申ス若ハ無キトハトニ無シトイフ之式テ軍官ノモノチ公卿給ニ一
申ス一アルカラスト也
傷伏 史生ニ當ナリ 此モ古ハ判授官ニアラス陸奥守ニハ二人

按察使三人倭使ヲツケル。出羽守二人倭使二人付テトモ云格ノ
定リタルナリ。天長五年ノ格ナリ。取代ニヨリカケリ。古ハ大臣
隨身兵仗ヲ賜ハルルノ守ニヨリシ。今ノ与カヤ同心ノ類ニ
征夷使。今ハ無ク。夷狄ヲ征伐スル使。鎮守府ハ常ニ立
テ凡官ノ征夷使ハ軍ノ凡トキ敵リル者ヘ向ケラル。其ニ
府幸シ夷字ヲ付ルハ蝦夷ヲ征スルタメニ設ケルニ夷字ヲ附
夷ニカキテ四方ヲ征スルナリ。西宮祀リ臨時卷ニテ此ノ四方ヘ
出ルルニハ節令行テ天子モ紫宸殿ニ出御アリテ節力ヲ賜
ケテ命セラル。熊襲
征夷 始於日本武尊 日本武クマナリヲ征シ至ヒテナリ征東
征夷ノ名号始リ 景行天皇ノ命ヲ授賜フ。此トモナリ
未置鎮守已往ハ已前ニ 為按察使 此ハ奥州ニ鎮守

府ヲ置シ凡巳前ハ按察使トシ式ハ鎮守將軍トス。文屋綿丸
ヲ任ス。神任帳ニ不見。神皇正統記ニ平城天皇所弟嵯峨
天皇ニ位ヲ讓リテ平城ノ所ニテ國親王トナリ。母
ヲ弟トシテ平城ノ庵ニテ弟ニ仲成ト云モナリ。仲
成ニ弟ニカシメテ平城天皇ニ竊ニ乱ラサシメテ國ヲ位ニ即レトス
ソトキ綿丸ニ命ノ征夷將軍トシテ軍ヲ真サシム。仲成亦カ誅セテ
言岡ハ出ルルニテ空海カヤ子トナリテ高如親王ト申ス。綿丸ノ征夷將
軍タルハ平城ノ私ニ任セラレタルニテ神任帳ニ載セスト。其上田村丸カ征
夷將軍ニ任タルハ神任帳ニテリ。思按。於法府上ハ法府
ハ常ニナリ。田村丸ハモトカ法府將軍タルニテ征夷ノ字ヲ加フ。平將
門叛乱ノハ古クテ神心未雀院ノ事。貞信公ノ攝政セシルニ平
將門貞信公ニ任テリ。將門檢非違使ヲ任セシテ平將門貞信

公不許之故ニソノ皇ノ不遜ヲイキトホリテ必一悔テ
ノ平親王ト自ラ稱ス人ヲモロカ心ニ官ニ在タリヌメタリメ下総国
馬郡ニ都ラテヨリケリテ天下騷動ス天興二年十月ナリ同三年
田原大等ノタニ滅亡ス原ノ忠文カ征事將軍トナテ
大將ニ源經基ハ方孫王シケテ副將タリ忠文カイニタ下リワタ
中ニラルチニ秀郷貞盛ガ是テ將門ヲ撃滅タリ忠文ハソノ向
ニアラスノ途ニ申ヨリ及上ニタリ大將トモ忠文ハ軍功ナシ貞盛
秀郷トモテテテ官位昇進セリ西国ヲ統セリ
忠文ハ大將軍トモ切キニ抽賞ナリシガ九条ノ奏セシハ
切キトモ大將トモ切ノ疑キハ行(ト)トテ勸メ申セニヨツテ
賞ヲ行タリ少野ノ官位ハ中ノ同心トモトカ大將トモ切
ナキ上ハ賞ヲ行フキヤリナシトテ止ラレタリ忠文ニシテ恨テ死ノ

小地官ニ恨ミ源キニニ宇治ノ離官ト崇リ流メタリソノ後ハ征事
ノ号久シ中級ストハ二百四十年ホト中級セリ源義仲ガ長上
京ノキケノ目ヤルコツカノ向兵權ヲトツテ任タリ外ニ頼朝
征伐ノタニ平ノ友成ガ征事大將軍タリ我レモ平友成ノ征事
ニ任タルハ代々ノ記保補任帳モ又平氏ハ一旦權ヲ執テ
官位ニ昇進ストハ其敵尤ニトテ平氏一族ノ官高尉ヲハ
刪リテ記保補任帳モ不裁ニシケモ友成ノハモ奉テ又
權大納言源頼朝—— 辞女職 友成トハ大納言ト大將ト
ノニラテ頼朝ノ玉ノトキニシケ友成ヲ辞退ノ上テ 母セシタリ
大拍人ノ昇進ハ参保カラ中大納言ヲ經テ頼朝ハ参保ヤ
中納言ヲ經ズ直ク大納言ニナリシニテ 辞メ内ニタリ
スラニ 友成ノ及之ニ逆カラ文勅使ヲ古サテ 征事大將軍ノ号

賜り多しハ特外規模ナリ。迹カラ追テ又ハ其ノ賜ヲ特
外ノ竈業トイフ之ハ征夷ハ常ノ官ナク又臨時重ルニカ
頼朝ニ下セテカス代々連綿ノ常ノ官トナリ。頼朝ノ自
少將之弟トシテ中將ノ上ナリ。女將ノ上ナリ。頼朝ノ跡ヲ統
レタリ。長ニ位ニ成テカラ。征夷右將軍ヲ兼テ。元治元年十月頼朝
ノ世ヲ終レタリ。同月六日。右中將トシ。建仁二年。長ニ位。征夷大
將軍ニ補セ。元久ノ女將トナリ。ハアラス。又実朝ノ公兵衛佐。実
朝ハ頼朝ノ次男。頼朝ノ弟トシ。建仁二年九月。長ニ位。征
夷右將軍ノ官ヲ兼テ。同日。右兵衛佐ノ任ス。元久
二年正月。正五位下。義元二年。右中將。建曆二年十二月。長ニ位。建
保四年六月。中納言。兼左中將。建保六年十月。右大臣ニ任ス。ノ
右大臣ノ稱。實ノキ。鶴岡ノ八幡。清テモ。公曉ト云カ。出テナリ。カ

石橋ノ下ニカレテ子ナリヨリ。実朝ヲ殺セリ。頼朝ノ嫡流ハ実朝ノ
代ニテ終タリ。実朝ノ母。北条ノ政ノ女トシ。二位ノ尼ト申ス。人
ハカシノ流ノ終タルヲカナシ。多クノ頼朝ノ卿ヲ申シ。清テモ。將軍
ノ世嗣ト云セタリ。二位ノ尼カ。政務ヲ執リ。故ニ尼將軍ト世ニ稱
ス。頼朝ノ卿ハ光朝ノ弟トシ。其ノ子息ナリ。ハヲ申下ノ。鎌倉ノ將軍ト
ス。ノ後見ラハ。尼將軍ト云セタリ。頼朝ノ卿。鎌倉ニテ。元服ノ又。征夷
將軍ニ任セ。次ニ後醍醐帝ノ后子。宗尊親王ヲ申シ。下ノ。關東
ノ下向ノ。頼朝ノ嗣トス。以上。四代ノ。向宗。尊惟。康久ノ。守邦ト。代代
相継テ。征夷將軍ニ任セタリ。守邦トキニ平。高。時カ。権。平。六。名。ク
ノ。部。テ。亡。サ。レ。鎌。倉。ノ。將。軍。モ。タ。メ。タ。リ。元。弘。一。統。元。弘。中。高。時
滅亡ノ。天下カ。公。家。一。統。ノ。世。ト。ナ。リ。兵。部。ハ。護。良。親。王。ハ。大。塔。宮。ト。
首。昏。ニ。後。醍。醐。第。四。ノ。皇。子。ト。イ。フ。ハ。ア。シ。カ。四。六。非。ス。第。六。ノ。宮。也。紹

運流ニ弟六皇子トイハルガヨシハカ暫ノ間征夷將軍ニ任ス其後上
野太守大守シラト引テヨクニ國ノカミトキハタ、コクニユトヨミ大守
ノ任ハ親王ノ任官ノキハタイシラト引ニ成良カ征夷將軍ヲ弟五ヲ
建武三年二月被止其号トイハル南朝テノイハル弟ハ止メ置ル
尊氏將軍十二代代々征夷將軍ヲ任シ天正年中大岡秀吉亦
任之其後

東照宮内任官ト弟五ヒ台徳大猷公代々連綿ノ征夷
將軍ノ任官于今綿延ナリ建武二年ニ止トイハル南朝イハ
凡頼朝云々 頼朝ヲ征夷將軍ニ任セシテシラタタキセラル、ヨリメ
結守府ヲ並ニ任セラス 並重トキハ將軍ノ權カロクナリテ威權分
ルユニ元弘以後ニ並任セラ 顯徳卿ガ結守府將軍ニ兵部
卿親王征夷將軍ニシテ並ニ任セラルニ建久已後ノ副
將軍ハ任セラス 副將アルハ大將軍ノ權分ル、ユニ大將軍ヲ貴
官トアリ 威權ヲ貴フセシメニ副ヲヤメラシメリ



職多被日誌卷之五終

